

令和元年陳情第23号
関係資料

東大井5丁目1～4番地区（C地区）まちづくり勉強会について

1 まちづくりの一般的な初動期の流れ

- (1) 地区の住民や権利者によるまちの課題認識（防災・住環境・活性化等）
↓
「老朽建物が密集し地震や火災時に心配」「道路が狭く緊急車両も通れない」「もっとにぎわいがほしい」等、近隣同士の日頃の会話から始まる等。
- (2) まちづくり勉強会（課題の解決方法・まちづくり制度等）
↓
・地区での世話人が中心となり権利者等への勉強会の声掛け
・地区の現状や課題を抽出しながら、その解決方法等まちづくりの勉強会を実施
・区はまち全体を計画する立場から指導・助言
- (3) まちづくり協議会（勉強会の内容を踏まえながら、実施に向けた検討）
↓
・個別建替え
・共同建替え
・その他の手法等の検討

※その後、更に協議会の中で方向性を定めながら、まちづくりの検討を行っていく。

2 現在のC地区のまちづくり勉強会の状況

「耐火・準耐火構造の建物の割合が低い」
「老朽化で建替え時期になっている建物が
多い」「狭い道路が多く存在する」といった
現状を課題として、世話人の呼びかけにより
勉強会が開催されている。



C地区位置図

3 過去のC地区のまちづくり検討の経緯

昭和58年より意識調査等が始められ、昭和63年に市街地再開発準備組合が結成されたが、その後現在まで事業実施に至っておらず準備組合活動も行われていない状況。